

# 第8回 ケアマネとリハ職の情報共有の練習会

令和6年7月19日（金）19時-20時30分 姫路市総合福祉会館

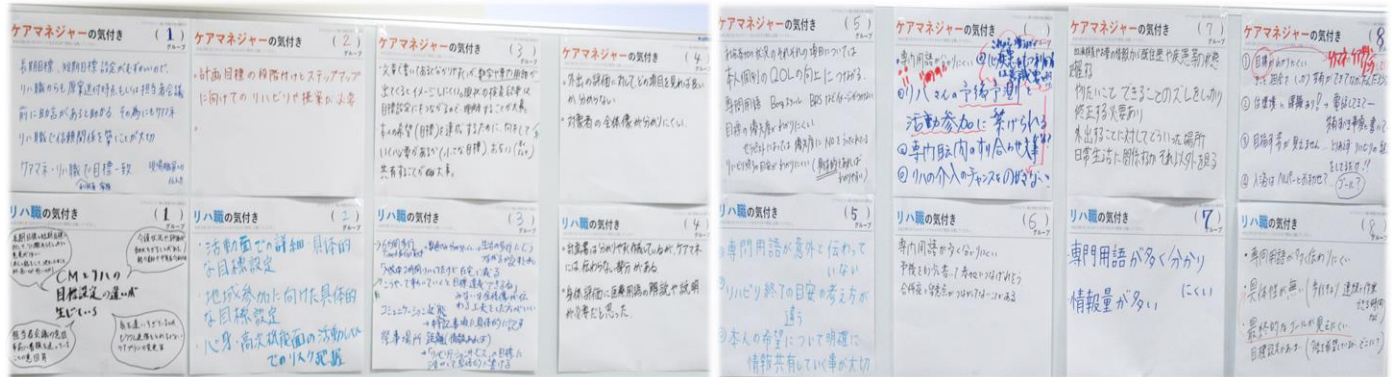


リハ職が書いた情報提供書（リハビリテーション計画書）をケアマネジャーとリハ職職と一緒に読み取ることで、  
《ケアマネ》生活機能の今後の可能性（将来予測）や、生活上の注意をどうやって確認するか  
《リハ職》情報をどのように伝えとケアマネが理解しやすいのかについて考え、深めていくことを目的とした練習会になります。  
第8回は、ケアマネジャー14名、リハ職職22名、その他の職種2名（計38名）が参加されました。

今回は、理学療法士会より「目標設定に悩む脳血管障害の一症例」の事例提供をいただき、8グループに分かれて話し合いを行いました。計画書に記載された情報で分からない事などを聞き合いながら、目標設定に向けてケアマネとリハ職が何に注目し、どのように共有すればよいのか、互いに学びを深める時間となりました。



今回の学び・気づき ⇨ 今回より気づき用紙を活用し、ケアマネ・リハ職がそれぞれにまとめ共有しました ⇨



## 参加者アンケート回答（一部抜粋）

- ・職種の違いから見ている視点が異なることがわかったため、お互い見ている状況を密にコミュニケーションをとり、目標設定していきたい（ケアマネ）
- ・より具体化した目標設定ができるように、アセスメントで知り得た情報を共有していきたい（ケアマネ）
- ・グループワークでは、皆が意見・発表しやすい雰囲気だった（ケアマネ）
- ・リハ計画書の内容で専門用語が多く、ケアマネさんにとって不明なことが多いため、特記事項をもう少し活用し内容を細かく伝えていけると良いと思った（リハ職）
- ・ケアマネさんが思う対象者がリハビリ終了だと考える場面は「自信がついたとき」、一方、リハ職が終了だと考える場面は「身体機能が向上している」時で、違いがあると感じた（リハ職）
- ・普段、他の事業所の方と顔を合わせる機会がないため、楽しい有意義な時間となった（リハ職）

次回の「ケアマネとリハ職の情報共有の練習会」は11月11日（月）姫路市医師会館にて開催予定です！ 今後の研修会情報につきましては、センターのホームページでもご確認いただけます